

サヴン・サヴ（サヴン）

ブレス・カンボジア(BCN)

カンボジア・タケオ州トラムコック地区

民族 / 部族: カンボジア
母語: クメール語
宗教: キリスト教
職業: フィールドワーカー



仕事について：

「ブレス・カンボジアでボランティアとして働く私たちに給料はありませんが、共に学び、成長しています。農村の人々に農業を教えることも、イエス・キリストの素晴らしさを伝えることも、何であれ、神の国を崇めるために行います。これにより、人々がそれぞれの家族を養うことを助けています。」

サヴン・サヴはカンボジアのタケオ出身で、ブレス・カンボジアで働く献身的なフィールドワーカーです。農家に生まれ育った彼は、農村の生活とその課題を深く理解しています。彼のコミュニティは農業に大きく依存しており、技術の習得や教育を受ける機会が限られているため、多くの家族が経済的困難に直面しています。サヴンは、英語教育や農業訓練、霊的成長に携わることで、コミュニティで重要な役割を果たしています。彼の主要な取り組みの一つは、子どもたちにノン・フォーマル教育を提供する学校事業で、彼らが英語を学び、社会的スキルを身につけるのを助けています。さらに、381世帯の支援を目的とした畜産プロジェクトを率い、人々が生活を向上させるための知識と資源を得ることができるようにしています。サヴンは農業はいのちであり、農業技術によって人々の権利や能力を高めることが、持続可能な変化をもたらすと信じています。

送り出し団体について：

ブレス・カンボジア・ネットワーク（BCN）は2015年に設立されたカンボジアのNGOで、教育、持続可能な農業、コミュニティ支援を通じて農村の経済発展に尽力しています。主にタケオ州とブノンペン州の農村部の若者や子どもたち、牧師を対象としており、農業訓練の提供、有機農業の推進、無償教育の提供、大学生のための寮の運営などを行っています。BCNの今後の計画としては、モデル有機農場の拡大や研修プログラムの強化などがあります。帰国後、サヴンは農場管理者として、持続可能な農業の発展とコミュニティのレジリエンスの向上に貢献する予定です。団体は、彼の有機農業技術研修が長期的なビジョンの達成に大きく貢献すると信じています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)